

報道各位

2014.10.28

No.141002

発酵大豆培養物 ImmuBalance[®]が花粉症改善で特許取得

ニチモウバイオティックス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：天海智博、ニチモウ㈱（証券コード 8091）100%子会社）は、当社の開発した発酵大豆素材である発酵大豆培養物 ImmuBalance[®] が、花粉症予防効果の臨床試験において、くしゃみ、眼のかゆみ、なみだ目、鼻水、口蓋・喉の腫れの症状、および、日本版鼻結膜炎 QOL が前年と比べ、およそ 85%有効性が確認され、**花粉症改善用素剤として10月3日に特許庁に特許権設定登録(特許第 5624706 号)した。**

特許取得にあたり、2006年2月から4月までスギ花粉（JCP）を有する被験者7名に対してオープンラベル臨床試験を実施した。各参加者は一日あたりの経口量 1.0~2.0g の ImmuBalance を3ヶ月投与された。これには熱殺菌したラクトバクテリア $1.8 \times 10^{10}/g$ が含まれている。6名の参加者（男性4名、女性2名、年齢26~55歳）が3ヶ月のサプリメント摂取を完了した。1名の参加者は JCP 特異 IgE の RAST スコアが 2UA/mL 未満であったため本試験から除外した。各参加者が前年の JCP 臨床症状を日本の 2002 年版鼻アレルギー診療ガイドラインにて 0 から 4 までの 5 段階のスコアで自己評価した。

自己評価による花粉シーズンのピーク期での全体平均症状スコア (1.7 ± 0.3) は、前年 (3.5 ± 0.2 ; $P < 0.01$) と比べ有意的に改善したことが示された。更に、花粉シーズンのピーク期のくしゃみおよび鼻汁の平均スコアも前年と比べ有意的に改善した。下鼻甲介粘膜の浮腫および色調ならびに鼻汁の分泌量および性状に関するスコアがベースラインと比較し花粉シーズンのピーク期に有意的に上がることはなかった、およそ 85%有効性が確認された。

この試験結果は、ImmuBalance が花粉症改善に有意に低減することを示唆し、花粉症に困っているヒトに届けたいと考えている。

ImmuBalance は、プロバイオティクス作用だけではなく、プレバイオティクス作用および直接生体に作用するバイोजェニクス作用を有していることから、それら3つの作用の相乗効果によりアレルギーから脱感作（過敏性を除去）させる。そのアレルギー脱感作は、一般の乳酸菌製品より顕著な効果を期待できると思われる。

以上

添付資料：特許書（特許第 5624706 号）

【お問合せ先】

ニチモウバイオティックス株式会社

Tel: 03-3458-3510 Fax: 03-3458-4330

nbkinfo@nichimo.co.jp

